

黒埼南ふれあい協議会ニュース

第40号

ふれあいかわら版

区政懇談会と黒埼南ふれ協総会を開催!!

去る6月6日(土)、黒埼南部公民館において西区の区政懇談会と黒埼南ふれ協の総会が開かれました。区政懇談会では黒埼南部地域の諸課題について改善を要望しました。また、南ふれ協の総会では26年度の事業報告と決算報告、27年度の事業計画と収支予算について審議しました。

区政懇談会の挨拶で、眞島幸平西区長から黒埼出張所の本館が劣化しているため、別館を改修してエレベータを付け2階に黒埼出張所と地域保健福祉センター、3階に西部地域下水道事務所を配置し、併せてまちづくりセンターを併設することの改修計画と、27年度に実施設計、28年度に分館改修・移転完了、29年度に本館解体と駐車場整備というスケジュールの説明がありました。

引き続き、区政懇談会での協議に入り、江端年直南ふれ協副会長(黒鳥総代)から県道新潟燕線整備促進要望の進捗状況について要望。

江端：昨年の10月2日に篠田市長・渡辺土木部長に要望書を提出し前向きに検討する旨の回答をいただいた。その後、11月に交通量調査が行われている。整備促進に向けた今後の方針を伺いたい。

眞島区長：昨年の要望を受けて本年度から事業に着手することにした。着手の中身は、現地の地形を把握して設計の基礎資料とするため、稲刈り後の秋以降に現地の測量を考えている。

その後の対応については国の予算を得ながら用地買収の運びとなるので、その節はご協力をお願いしたい。交通量調査では12時間で2千台と聞いている。

続いて、大谷一男南ふれ協会長(木場八割自治会長)から使命を終えた火の見櫓の撤去について要望。

大谷：防災無線の普及で火の見櫓はその使命を終えている。中でも八割自治会の火の見櫓は消防小屋(器具格納庫)の上に櫓を建てて、而も築後84年を経過している。構造上の心配もあるので撤去を要望したい。

西消防署市民安全課長：八割自治会の火の見櫓は地面を基礎とするものではなく消防小屋の上に櫓を建てたもので、老朽化も進んでいるので撤去工事の準備を進めている。7月末には完了したい。その他の火の見櫓は老朽化が進んでいるものから撤去を進めたい。

続いて、佐藤由光南ふれ協副会長(北場自治会長)から市道1-156線通行制限について要望。

佐藤：県道新潟寺泊線から緒立集落に通じる市道が朝の渋滞回避の迂回路となって農耕車の支障となっている。路面の凹凸も激しい。一般車両の通行を制限して欲しい。

眞島区長：要望の道路は市道であるので、誰もが使用できることになっている。一般車両だけを制限することは難しい。凸凹については現場の状況を見ながら地域の皆さんと一緒に対応を進めて行きたい。

次に、小林博南ふれ協副会長(板井自治会総代)から新潟中央環状道路ボックス出口の安全対策について要望。

小林：板井地内3か所のボックスの出口が側道と交差する構造となっている。事故防止の安全対策として最低限カーブミラーの早期設置を要望したい。

眞島区長：工事の進行状況を見ながら考えたい。カーブミラーとか止まれの標識とか停止線の表示とかどの場所が適切なの、現地での確認も含めて警察とともに検討して行きたい。

最後に、小林忠芳南ふれ協副会長(木場連合自治会長)から生活道路の舗装整備について要望。

小林：下組と新田の集落に、家屋と接する道路が砂利道で快適な生活が享受できないでいる。住民の生活の質(QOL)の面から舗装整備を進めて欲しい。

眞島区長：西区が管理している市道(法定外公共物)で舗装の要望については現状を把握して状況を見ながら優先度をきめている状況である。木場新田の道路は市道でもあり優先度は高いように思っている。木場下組についても利用の形態を確認させていただきたい。

引き続き、石川久資西消防署市民安全課長から西区の火災概況の説明と熱中症への注意喚起がありました。



以上の区政懇談会に引き続いて、黒埼南ふれあい協議会の総会が開催されました。

大谷会長の挨拶、眞島区長の挨拶に続いて、永井武弘市議からは「先ほどの議論で前進できる区政懇談会となった。この地域が明るく住

みよい地域になることを望みたい。」旨の挨拶、杉中規彦黒埼南小学校長からは「今年度も様々な事業を通して子ども達の一人一人の瞳がより一層輝くように支えていただければ有難い」旨の挨拶がありました。

引き続き、事業報告・収支報告と事業計画・収支予算が報告されましたので、その概要をお知らせします。

	項 目	26年度決算	27年度予算
収 入	繰越金	109,552	61,170
	運営助成金	200,000	200,000
	事業補助金	123,000	160,000
	古紙支援金	32,250	33,000
	地域活動補助金	0	0
	諸収入計	123,926	125,830
支 出	運営費	366,675	330,000
	事業費	160,883	185,000
	繰越金/予備費	61,170	65,000
	計	588,728	580,000

平成27年度の主な事業は、次のとおり。

- 緑化推進事業
- お茶の間広場
- 黒埼思い出マップ
- 健康増進講座
- 輪投げ大会
- 生活関連施設見学
- クリスマス飾りをみんなで作ろう
- 南小伝統芸能育成
- 南小卒業生記念品贈呈
- 西区一斉クリーンディー
- 広報紙発行

春季の「第5回黒埼南輪投げ大会」で南部公民館は大笑いでした。

今年から年2回開催する輪投げ大会の春季大会を7月3日(金)に黒埼南部公民館で開催しました。今大会から黒埼南小学校区スポーツ振興会が共催となり、各地区の精鋭16チーム100名程の選手が優勝を目指して参加しました。

熱戦でした大会の成績は予想通り木場八割チームが582点の高得点で優勝し、準優勝は

518点の板井第二長寿会、三位に434点の木場上組老友会Bが入りました。

黒埼南ふれ協・スポーツ振興会合同チームも全力で臨みましたが、208点で残念ながら最下位となりました。

今大会も参加者全員が「和気あいあい」と競技を行い、とても楽しい大会でした。

「茶豆ふれあいライン」の花植え事業

生活環境部会では7月9日(木)にみどりと森の運動公園から黒埼南部公民館の間に設置している26個のプランターに夏用の赤いサルビア花苗100本とマリーゴールド苗150本を1か所当たり9~10本の割合で植付けました。この猛暑の中ですので枯れるのが心配ですが、無事に夏場を乗り切れる様に散水を行っています。近くにお住いの方にも苗が萎れていたら散水をお願いします。